

沖縄県PDCA実施結果(対象年度:平成25年度)に対する県民意見の概要と県の考え方

No.	県民意見		対応方針	沖縄21世紀ビジョン 実施計画掲載箇所		担当部	担当課
	施策名	ご意見・ご要望		主な取組	頁		
1	—	パンフレットに予算かけすぎです。	<p>沖縄21世紀ビジョンで描いた将来像は、県民が自ら掲げ共有するものであり、その実現には、県民一人ひとりが自ら何ができるかを考え、行動することが重要であると考えております。</p> <p>そのため、平成26年度は、沖縄21世紀ビジョンの取組等を県民に広くアピールし、施策に対する県民の関心を高めるため、パンフレットを作成・配布いたしました。</p> <p>これを活用し、沖縄21世紀ビジョンの取組や成果をアピールすることで、ビジョン実現へ向けて県民の参画と協働を促進することができたと考えております。</p> <p>今後も、引き続き、より効率的な広報活動に努めます。</p> <p>なお、予算の執行にあたっては、地方自治法等関係法令・規則に基づき、適切に執行しております。</p>	—	—	企画部	企画調整課

No.	県民意見		対応方針	沖縄21世紀ビジョン 実施計画掲載箇所		担当部	担当課
	施策名	ご意見・ご要望		主な取組	頁		
1	失業率、モノレール	失業率→正規の仕事を増やす。または非正規でもWワークをうまく組み合わせて生活できる仕組みの構築。	<p>沖縄県では、完全失業率全国並みの実現のため、「みんながグッジョブ運動」を推進し、産業振興や企業誘致、ミスマッチの解消、若年者の就業意識の向上等、雇用機会の拡大に取り組んでいます。</p> <p>また、沖縄労働局と連携して、経済団体等に対し「正規雇用拡大等の要請」や「働き方改革の実現に向けた取り組みに関する要請」に加え、従業員の正規雇用化や処遇改善を促進するため、仕事と生活の調和に積極的に取り組む企業を認証する「沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業認証制度」、人材育成や雇用環境に優れた企業を認証する「人材育成企業認証制度」を実施しています。さらに、若年従業員の定着を支援する「若年者定着支援実践プログラム事業」や、正規雇用化につなげる「沖縄県正規雇用化促進モデル事業」を実施するとともに、国が行う「キャリアアップ助成金」等の周知徹底に努めています。</p> <p>県としましては、現在実施している労働環境実態調査の結果をふまえて、国や関係機関と連携し、より効果的な施策の展開を図ってまいります。</p>	<p>県内企業雇用環境改善支援事業</p>	284	商工労働部	雇用政策課
			<p>若年者定着支援実践プログラム事業</p>	289	雇用政策課		
			<p>ワーク・ライフ・バランス推進事業</p>	292	労働政策課		
1	失業率、モノレール	交通→那覇への集中を避ける。車がなくても買い物ができるよう(高齢者でも)交通網の整備(路面電車、コミュニティバス、カーシェアリングなど)	<p>沖縄県では、本島を縦断し、広域移動を支える基幹軸となる鉄軌道等の導入とあわせて、フィーダー交通として、LRT、基幹バス等が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けて取り組むこととしており、これにより、自動車に過度に依存しない社会を実現し、移動手段の多様化や高齢者の外出機会の増加に資するものと考えています。</p> <p>このため、平成26年10月には、鉄軌道の計画案づくりをスタートさせ、その進め方となる検討プロセスを本年1月に決定したところであり、同プロセスに基づき、来年度末を目途に、県民と情報共有を図りながら、鉄軌道計画案と併せて、鉄軌道と連携するLRT等の公共交通ネットワークのあり方について検討を行っていくこととしております。</p>	<p>鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入促進事業</p>	35 41 78 164	企画部	交通政策課
			<p>首里駅から沖縄自動車道(西原入口)までモノレールを延長し、中北部を含めた定時で利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図ることにより、自動車から公共交通機関への転換を促し、那覇都市圏の渋滞緩和を図ります。</p>	<p>沖縄都市モノレール延長整備事業</p>	164		土木建築部

No.	県民意見		対応方針	沖縄21世紀ビジョン 実施計画掲載箇所		担当部	担当課
	施策名	ご意見・ご要望		主な取組	頁		
2	障害ある社会福祉作り	さて私は障害者ある人です。私は、介護員も、入ってからも、約9年目です。さて、私は、今は、現在には、バスの乗り換えておりますね。さて、私は、いつも、ボランティアも、手伝いしておりますよ。又、意見も、します。	障害のある人もない人もすべての県民が等しく地域社会の一員としてあらゆる分野に参画できる社会の実現を目指して、「沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例」や各施策等により、障害者が活動できる環境づくりに取り組めます。	障害者の権利擁護に関する取組み	110	子ども生活福祉部	障害福祉課
3	基地跡地利用	医療拠点形成すばらしい。ぜひ実現して欲しい。	平成27年3月に返還が予定される西普天間住宅地区については、跡地利用の先行モデルとして、国、沖縄県、宜野湾市が連携して跡地利用に取り組んでおり、引き続き、国際医療拠点の形成を目指して参ります。	普天間飛行場等の駐留軍用地の跡地利用の促進を図るため、跡地利用計画の策定に向けた調査 ・大規模駐留軍用地跡地利用推進費 ・駐留軍用地跡地利転用促進事業費	327	企画部	企画調整課
4	人口増加計画	待機児童の改善は良いと思います。	待機児童の解消については、引き続き沖縄県人口増加計画に位置づけて、積極的に取り組んでまいります。	—	—	企画部	企画調整課
			今後も市町村が実施する保育所整備や、認可外保育施設の認可化に向けた支援等を行うことにより、平成29年度末までの待機児童の解消に向け取り組んでまいります。	安心子ども基金事業等	94 95	子ども生活福祉部	子育て支援課

No.	県民意見		対応方針	沖縄21世紀ビジョン 実施計画掲載箇所		担当部	担当課
	施策名	ご意見・ご要望		主な取組	頁		
5	資料の 公表(掲 載)の方 法につ いて	<p>沖縄県のホームページには、A「実施報告書」とB「各部等ごとの主な取り組み検証票」が掲載されていますが、Aの体系に沿って各事業の検証票を見ようとする場合、Bの各部局毎のページやファイルの一つ一つ開いた上で各事業を探して見つけ出すのに時間がかかってしまいます。</p> <p>例えば、Aの施策総括票のうち、施策展開2(1)ア 施策②「生活習慣病等の予防対策の推進」では、関連部等が子ども生活福祉部、保健医療部とされていますが、記載されている個々の主な取り組みがどの部局の事業なのかが一見してわからないため、ある事業の検証票を見ようとした場合、子ども生活福祉部や保健医療部のページへ飛び、個別のファイルを開いて当該事業があるかを確認して初めて、やっと検証票にたどり着ける状況です。</p> <p>関連部局が多い場合、各事業毎にそのようなプロセスでいちいち検証票を探すのはとても大変です・・・。</p> <p>(研究者などは何となく部局を推測することも可能かもしれませんが、一般市民ではかなり難しいと思われる。)</p> <p>検証票の見せ方としては、各部等のくくりで並べるだけでなく、部局横断的にAの体系に沿って検証票を並べたものも、是非掲載して欲しいと思います。</p> <p>例えば、WEBページやPDFファイル自体のリンク機能も活用して、Aを閲覧中に個別の事業の検証票が見たくなったら、その事業名をクリックすると当該事業の検証票に飛ぶようなリンク設定をするなど、できるだけ苦勞せず欲する情報にたどり着ける工夫が必要ではないでしょうか。</p> <p>残念ながら、県民意見を募集している割には、資料の見せ方に配慮が足りないと言わざるを得ない。</p> <p>沖縄県も毎年頑張ってPDCAを実施し、広く県民へ公表した上でせつかく意見募集しているのだから、是非とも改善されることを期待しております。</p> <p>※ ついでに、この意見募集フォームを送信するにあたっての最終確認画面で、「ご意見ご要望」欄がスクロールしないため、自分が入力した文面の一部しか確認できませんでした。最後まで、残念です(・・・とほほ)。 この点も改善をお願いします。</p>	<p>沖縄21世紀ビジョンで描いた将来像は、県民が自ら掲げ共有するものであり、その実現には、県民一人ひとりが自ら何ができるかを考え、行動することが重要であると考えております。</p> <p>そのため、沖縄21世紀ビジョンの取組等を県民に広くアピールし、施策に対する県民の関心を高めるための取組をおこなっております。</p> <p>また、沖縄県PDCAの結果を公表し、幅広く県民意見を募集することとしております。</p> <p>今般、頂いた意見を参考に、「施策」総括表に担当部課名を記入するなどの改善を行うこととしております。</p> <p>今後もより解りやすい公表方法について、引き続き検討してまいります。</p>	—	—	企画部	企画調整課

No.	県民意見		対応方針	沖縄21世紀ビジョン 実施計画掲載箇所		担当部	担当課
	施策名	ご意見・ご要望		主な取組	頁		
6	農林漁業の担い手の育成・確保及び安定対策等の強化	就農給付金の応募が年に2回しかないので、せめて四半期に一度くらいまで回数を増やしてほしい。	<p>青年就農給付金事業は、県が給付主体として行う準備型及び市町村が給付主体として行う経営開始型に分かれており、年度内で給付することとなっております。</p> <p>準備型(新規)においては、公募期間、研修受入先のマッチング、個人面接期間、給付検討委員会、対象者への給付等の事務手続きに約5ヶ月を要しております。そのため、新規の準備型の給付は、年2回の公募となっております。</p> <p>公募については、県のホームページへ掲載するとともに、市町村及び関係機関・団体へ文書を送付し、周知しております。今後は、給付希望者がより迅速に確認できるよう広く周知に努めてまいります。</p>	新規就農者の育成・確保	245	農林水産部	営農支援課
7	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化について	<p>マーケティング支援は素晴らしい取り組みだと思うが、一部のメニューにおいて、補助金の交付方法が、立替後の請求となる事例があると聞いている。</p> <p>資本金や資金調達力が脆弱な経営体にとって、百万円近い金額の立て替えは非常に厳しいので、もし工夫次第で先払いができるのであれば、その方法を検討してほしい。</p>	<p>県の支出は、補助事業終了後に、補助対象経費を確定させた上で支出されるのが原則になっています。</p> <p>ただし、「離島特産品等マーケティング支援事業」では、経営規模の小さい離島地域の事業者の負担を軽減するため概算払いを行っております。</p>	離島特産品等マーケティング支援事業	319	企画部	地域・離島課
			<p>県の支出は、補助事業終了後に、補助対象経費を確定させた上で支出されるのが原則になっています。</p> <p>ただし、例外的に事業終了前に概算払いを行うことも可能であるため、企業規模、事業期間、補助金の額等を総合的に勘案した上で、必要と認められる補助金については、概算払いを行うよう検討してまいります。</p>	<p>地場産業総合支援事業</p> <p>県産品拡大展開総合支援事業</p>	319	商工労働部	ものづくり振興課 国際物流商業課

No.	県民意見		対応方針	沖縄21世紀ビジョン 実施計画掲載箇所		担当部	担当課
	施策名	ご意見・ご要望		主な取組	頁		
8	—	翁長新知事になっても「沖縄21世紀ビジョン」を継続して進めてほしい。	沖縄21世紀ビジョンで描いた将来像の実現に向けて、これまでの取組の成果を踏まえ、一層の沖縄の発展につながる施策展開を図ってまいります。	—	—	企画部	企画調整課
		すべての計画について、県民一人ひとりが実感できるようなものにしてほしい。	<p>沖縄21世紀ビジョンで描いた将来像は、県民が自ら掲げ共有するものであり、その実現には、県民一人ひとりが自ら何ができるかを考え、行動することが重要であると考えております。</p> <p>県民の積極的な参画と協働を促進するため、ビジョンや基本計画等の広報を行っております。</p> <p>また、県が実施する活動の成果を表す指標として成果指標を掲げ、施策効果の検証を行っております。</p>	—	—	企画部	企画調整課
		早く普天間基地を返還し、宜野湾が活性化するまちづくり、沖縄国際大学周辺道路の渋滞緩和などをしてほしい。	<p>沖縄21世紀ビジョンにおいては、基地のない平和で豊かな沖縄をあるべき県土の姿としながら、基地の整理縮小を進めることとしています。</p> <p>その実現のため、在沖海兵隊の国外移転及び嘉手納飛行場より南の施設・区域の返還を確実に実施することが重要と考えており、今後、軍転協とも連携し、あらゆる機会を通じて基地の整理縮小を日米両政府に対し強く求めてまいります。</p>	基地問題の解決と駐留軍用地跡地利用	390	知事公室	基地対策課
		<p>県と宜野湾市が共同で平成25年3月に策定した普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けた「全体計画の中間とりまとめ」では、計画作りの方針として幹線道路の整備や周辺市街地の改善と連携した跡地利用等を推進することとしております。</p> <p>今後、中間とりまとめをもとに、県民、地権者等の皆様のご意見をお聞きしながら、沖縄全体の発展に資する跡地利用計画策定につなげていきたいと考えております。</p>	—	—	企画部	企画調整課	

No.	県民意見		対応方針	沖縄21世紀ビジョン 実施計画掲載箇所		担当部	担当課
	施策名	ご意見・ご要望		主な取組	頁		
9	—	他人におしつけてばかりじゃなく、たまには自分でやりなさいと言って下さい。	<p>沖縄21世紀ビジョンで描いた将来像は、県民が自ら掲げ共有するものであり、その実現には、県民一人ひとりが自ら何ができるかを考え、行動することが重要であると考えております。</p> <p>県民の積極的な参画と協働を促進するため、ビジョンや基本計画等の広報を行っております。</p>	—	—	企画部	企画調整課
10	—	<p>母が車イス生活になり、散歩に連れて行こうと、車イスを押していると、傾斜している歩道が多く、本当に歩きにくいことを実感しています。ほとんどの家に駐車場があるため、歩道はほぼ斜めで、とてもじゃないけど車イスで通るのはムリで車道を通ることになります。杖をついて歩いている方も斜めで恐いと車道を歩いたりしています。マンホールのフタを柄にすとか竜頭の杖を作るとか言う前に、早急に安全な歩道を作って欲しいです。段差をなくし、緑だけを作れば、歩道を斜めにしなくてもよいと思います。</p>	<p>高齢者や障害のある人をはじめ、すべての人が安心して暮らせる地域社会を実現するために、「沖縄県福祉のまちづくり条例」に基づき、多数の人が利用する道路を含めた公共施設等のバリアフリー化を推進します。</p>	<p>沖縄県福祉のまちづくり条例によるバリアフリー化の推進</p>	73	子ども生活福祉部	障害福祉課
			<p>歩道につきましては、「沖縄県福祉のまちづくり条例」に基づき、バリアフリーに対応した整備に取り組んでいます。既存の歩道につきましては、周辺建物への車の乗り入れの制約などにより改善が厳しい箇所もありますが、可能な限り改善に向けて取り組んで参ります。</p>	<p>歩行空間の整備</p>	75	土木建築部	道路管理課
				<p>生活に密着した道路整備</p>	145		道路街路課
	<p>歩行空間の整備</p>	180	道路管理課				

No.	県民意見		対応方針	沖縄21世紀ビジョン 実施計画掲載箇所		担当部	担当課
	施策名	ご意見・ご要望		主な取組	頁		
11	—	<p>施策効果を検証する際の基準や物差しとしての役割をもつ成果指標や各年度の活動実績の状況をはかる活動指標が設定され、施策ごとの個々の具体的な取組や成果等を定量的に検証しているが、基本計画で掲げた基本施策ごとの総合的な検証も毎年のPDCAサイクルで必要ではないか。この場合、成果指標などの定量的指標と合わせて、数値等では図りきれない定性的部分も含めて、基本施策ごとの検証が必要と考える。</p> <p>なぜならば、成果指標等の設定がそもそも、都合のいいように設定されており(おかしい部分があり)、成果指標等がすべて順調に進んだとしても、基本計画で掲げた、将来像、基本施策等の実現は無理だと思う。</p>	<p>沖縄県では、沖縄21世紀ビジョン基本計画の着実な推進を図るため、沖縄21世紀ビジョン基本計画のPDCAサイクルの基本的事項を定めております。</p> <p>それに基づき、毎年度、実施計画で示した「主な取組」を対象にPDCAを実施するとともに、基本計画の5年目を目途に成果や課題を総括することとしております。</p> <p>なお、成果指標は、沖縄県等が実施する活動の成果を表す指標であり、各取組の活動量等を勘案し、各取組ごとに設定したものであり、妥当であると考えております。</p>	—	—	企画部	企画調整課